

1973年、米山博久先生ら同志6名の先生方と「臨床に強い鍼灸師の育成」をめざして森ノ宮医療学園専門学校の前身である大阪鍼灸専門学校を設立され、学園発展のため奔走されました。1997年、理事長を退任した後も鍼灸教育事業の充実と鍼灸の普及のため精力的に活躍されました。

学校創立時には臨床教育をどのように実現するかに心を砕き、



馬継興氏に所蔵史料を説明

1期生は隠岐島に、2期生からは吉野や淡路島に学生を連れて臨床実習に行かれました。また、教育事業には教育・臨床・研究の3つの柱が必要であることを早期に認識し、開学10年目には専門学校としては初めてとなる附属診療所を全国に先駆けて設置。続いて研究・卒後教育の一環として鍼灸臨床専門誌『鍼灸OSAKA』を創刊されました。

また長年、大阪府鍼灸師会会長をはじめ業界・学会・養成施設の役職を歴任し、鍼灸の健康保険取り扱いの推進、養成施設の教科書の統一推進、小児鍼の全国普及、鍼灸師の手技として存亡の危機にあった刺絡の復興等、生涯を通じて鍼灸の普及・啓発に努められました。

さらに長年、鍼灸の歴史に関心を寄せ、半生をかけて鍼灸関係の史料を蒐集し、森ノ宮医療学園内に世界にも類をみない「はりきゅうミュージアム」を開設するに至りました。国内外の研究者



学生に腹診を指導

から一般の方々まで見学に訪れ、高い評価を得ています。逝去の十数日前の7月30日には初学者のために3時間におよぶ臨床講義をされました。

代表的な著書に『はり入門』、『小児鍼法』（共著）、『解剖経穴図』、『鍼灸のための診断と治療』等があります。

校友会会員の皆様のご厚誼、ご厚情に故人になりかわり深謝申し上げます。
(校友会事務局)



アメリカでの小児鍼講義

学校法人 森ノ宮医療学園 創立者

森 秀太郎名誉理事長 逝く



1900年 空手部 和歌山日川合宿



文化祭でのもちつき



自ら考案された校章